平成30年９月 定例会 一般質問より

帰宅困難者対策について

ごんもり幸男質問

Q・通勤・通学時間帯に発生した大阪北部地震を教訓に、地震発生の時間帯を通勤・通学、帰宅中、就業後とパターンを想定し、災害時のマニュアルに盛り込むことを企業側に要請すべき。

危機管理防災部長答弁

A・時間帯別の対応が盛り込まれた、実効性のある災害時マニュアルの策定が進むよう、3団体を通じ県内企業に働きかけます。

LINEを活用した相談体制の構築について

ごんもり幸男質問

Q・ＳＮＳを活用した教育相談体制の構築に向けた研究会での検討状況は。
・今後の見通しは。

教育長答弁

A・平成30年1月からこれまでに4回の会議を開催し、意見交換会などを重ねました。
・研究会で整理した基本的な考え方や先行して実施している自治体の成果等を踏まえ、相談体制構築を進めます。

災害対応におけるSNSの積極的な活用について

ごんもり幸男質問

Q・災害時の情報収集や発信にＳＮＳを活用すべき。
・本県では、災害デマにどのように対応するのか。

危機管理防災部長答弁

A・SNS情報にAI(人工知能)を活用したシステムについて、平成31年1月に図上訓練で実証実験を行います。
・実証実験で、デマ情報を的確に対応できるかについても併せて検証を行います。

認知症サポーター活動支援について

ごんもり幸男質問

Q・熊本県の取組みを参考にサポーターの活動支援についてもっと取り組むべき。

知事答弁

A・市町村や関係団体の皆様の意見を伺い、サポーターの活動の活性化を図ります。

ごんもり幸男質問

Q・認知症の人への声がけ模擬訓練は現在、県内18市町が取り組んでいると聞いている。県全体に広めるべき。
・ボランティア情報サイト「オレンジ広場」を県民へもっと周知し、活用するべき。

福祉部長答弁

A・全ての市町村において実施されるよう働きかけます。
・市町村や介護施設などに働きかけ、ボランティア情報の充実を図ります。

その他の一般質問

◎「地域包括ケアシステム」について
◎都市計画道路上野長宮線整備について
◎里子受託に向けた面会交流時の負担軽減について
◎県道西金野井春日部線の整備について

県政に関するご意見・ご要望をお寄せください。
公明党 県議会控室　埼玉県議会議員 ごんもり幸男
TEL 048-822-9606　FAX 048-822-9408
〒344-0011 埼玉県春日部市藤塚250−337　TEL・FAX 048−738−2364

埼玉県議会議員　http://www.gonmori.com　No.20

ごんもり幸男（ゆきお） 県議会ニュース

公明党　yukio.gonmori　@gonmori_yukio　goncall1013
LINE登録はこちら
県政相談はお気軽に　TEL・FAX048−738−2364　E−mail:yukio@gonmori.com

ごあいさつ

埼玉県議会議員
椎守幸男

平成30年は、1月に埼玉県の大雪、6月に最大震度6弱を記録した大阪北部地震、広島・岡山・愛媛県などを襲った平成30年7月豪雨、「生命に関わる危険な暑さ」となった猛暑、9月の全道がブラックアウトになった北海道胆振（いぶり）東部地震、相次ぐ台風の上陸などにより、全国各地に大きな爪あとを残しました。心からお見舞いを申し上げます。

さて、最新の世論調査によれば、9割の方が自然災害に不安を持っており、また、平成30年の埼玉県政世論調査では、県政への要望として、「災害から県民を守る」が、統計史上初めて第1位となりました。

頻発する自然災害から県民の生命と財産を守る「防災・減災対策」は「政治の最重要課題」になっています。対策を急がなければなりません。ごんもり幸男が、その役割を果たします。

引き続き、ご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

ごんもり幸男が力強く推進!!
「春日部駅高架化」実現へ 事業着手が近づいています!!

平成30年９月 定例会 一般質問より

（提供：春日部市）

ごんもり幸男質問

Q・平成30年6月末に行った住民説明会以降の現在の進捗状況と今後の見通しについて伺う。

県土整備部長答弁

A・現在、都市計画決定のための手続きに着手しています。

・今後の見通しは、平成30年度内の「都市計画決定」を目指しており、春日部市や東武鉄道と緊密に連携を図りながら、春日部駅付近連続立体交差事業の早期事業化に向け取り組んでいます。

発行：埼玉県議会公明党議員団

ごんもり幸男が推進した主な実績

〈 防災・減災 〉

埼玉県独自の被災者支援制度を創設

国の被災者生活再建支援法には適用条件があり、支援の対象とならなかった被災者のための県と市町村の共同による支援制度を創設。

「車中泊」避難対策を推進

地震などにより、車中泊避難者がエコノミークラス症候群の予防策として、医療用の「弾性ストッキング」の備蓄を開始。今後、備蓄数を積み増す計画です。

災害調査にドローンを活用

災害現場での情報収集と調査にドローン（小型無人機）を活用します。

県は「埼玉県測量設計業協会」などと災害時応援協定を締結しました。

災害派遣福祉チームを創設

大規模災害時に避難所等において高齢者や障害者、乳幼児等への福祉支援を行う災害派遣福祉チーム創設。

〈 教　育 〉

授業料の実質無償化を実現

平成29年度から、年収約609万円未満世帯まで対象を広げ、平成30年度から、私立高校生や大学生が3人以上の多子世帯に限り、対象を年収約750万円未満世帯まで拡大。

公立高校入試に「追試験」を実施

平成31年度の公立高等学校入学試験から、急病などにより受験できなかった受験生のために「追試験」を新たに実施します。

〈 安全・安心 〉

駅ホームの転落防止対策を推進

駅ホームの転落防止対策として、「春日部駅」など市内７駅をはじめ県内各駅にホーム内側をつえや足で判別できる「内方線付き点状ブロック」の設置や、対象となる県内各駅に「ホームドア」の設置を推進。

「あおり運転」の防止強化を推進

車間距離不保持違反、道路変更禁止違反、追い越し方法違反等による「交通指導取締り」を強化。

〈 医　療 〉

救急電話相談を拡充

子どもと大人の救急電話相談（#7119）が平成29年10月1日から、365日間24時間対応へ。

不妊へのきめ細やかな支援を充実

これまで43歳未満の夫婦を対象とした不妊検査費に加え、平成30年度から不育症検査費の助成が開始。

〈 福　祉 〉

パパ・ママ応援ショップ優待カードを拡充

子育て世代を応援する「パパ・ママカード」の配布対象が、中学生から高校生の子どもを持つご家庭まで拡充。

割引などのサービスが受けられる協賛店舗数は22,659店（平成30年8月31日現在）。現在も増加中です。

認知症サポーターのボランティア情報サイトを開設

サポーターの活動支援の一環として、ボランティア情報などを提供します。

〈 春日部地域 〉

信号機の設置などを推進